

**平成 23 年東北地方太平洋沖地震の知見等を踏まえた原子力施設への  
地震動および津波の影響に関する安全性評価の実施状況について  
(原子力規制委員会への報告)**

2012 年 12 月 20 日

当社は、平成23年東北地方太平洋沖地震の知見等を踏まえて出された原子力安全・保安院(当時)からの指示<sup>※1</sup>に基づき、2011年11月18日に「浜岡原子力発電所の平成23年東北地方太平洋沖地震の知見等を踏まえた原子力施設への地震動および津波の影響に関する安全性評価実施計画書」を提出し、その実施状況について定期的に国へ報告しています。(2011年11月18日、2012年1月17日、2012年3月16日、2012年5月17日、2012年7月17日、2012年9月13日、2012年11月16日お知らせ済み)

本日、本指示に基づく地震動および津波の影響に関する評価の実施状況について、原子力規制委員会へ報告しましたので、お知らせします。

今回の報告では、原子力規制委員会における新安全設計基準の検討の動向および今後の内閣府検討会の追加検討を踏まえ、当社評価結果の報告時期を2013年度上期に見直しました。

**実施状況**

内閣府による「南海トラフの巨大地震モデル検討会中間とりまとめ」(2011 年 12 月 27 日)において、想定震源域・想定津波波源域等が提示され、「南海トラフの巨大地震による震度分布・津波高について(第一次報告)」(2012 年 3 月 31 日)において、震度分布・津波高(50m メッシュ)の推計結果が取りまとめられ、その後、「南海トラフの巨大地震モデル検討会(第二次報告)」(2012 年 8 月 29 日)において震度分布・津波高(10m メッシュ)および浸水域等の推計結果が取りまとめられましたが、今後の検討として強震断層モデルの点検・評価等をおこないの必要に応じ修正することとされており、これまで実施状況の報告をおこなっています。(前回報告:2012 年 11 月 16 日)

原子力規制委員会における地震・津波に関わる新安全設計基準の検討の動向および今後の内閣府検討会の追加検討を踏まえ、浜岡原子力発電所で想定すべき地震動および津波について検討をおこない、同発電所への影響に関する評価を進め、評価結果を取りまとめて 2013 年度上期を目途に報告することとしました。

なお、当社では、「南海トラフの巨大地震モデル検討会(第二次報告)」について、津波高の推計等についてデータ提供を受け、内閣府の検討内容を確認し、内閣府の津波断層モデルを用いた津波の数値シミュレーションおよびこのシミュレーションによって得られた津波が浜岡原子力発電所に与える影響に関する評価を実施したため、その概要を原子力規制委員会に参考資料として提出しました。

項目	2011年度	2012年度	2013年度
			<b>原子力規制委員会による 地震・津波に関わる新安全設計基準検討</b> ▼7月 骨子 公布・施行
	<b>内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会」による検討</b> ▼ 12月27日 (中間とりまとめ)    ▼ 3月31日 (第一次報告)    ▼ 8月29日 (第二次報告)    ▼ 追加検討 <sup>※2</sup>		
(1) 津波	▼ 11月11日 指示文書 <sup>※1</sup> 受領	評価	12月20日 ▼実施状況報告 <sup>※3</sup> 2013年度上期 評価結果報告 <sup>※4</sup> ▼
(2) 地震動		評価	12月20日 ▼実施状況報告 <sup>※3</sup> 2013年度上期 評価結果報告 <sup>※4</sup> ▼

※1 原子力安全・保安院(当時)の指示: 2011年11月11日に原子力安全・保安院により発出された「平成23年東北地方太平洋沖地震の知見等を踏まえた原子力施設への地震動及び津波の影響に関する安全性評価の実施について(指示)」(平成23・11・02原院第4号)

※2 今後の内閣府の追加検討を踏まえ評価する予定です。

※3 以降の実施状況については2ヶ月を超えない範囲で報告予定です。文部科学省地震調査研究推進本部による海溝型地震長期評価の検討内容および内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会」の検討内容を適宜反映する予定です。

※4 原子力規制委員会における地震・津波に関する新安全設計基準の検討の動向を踏まえ評価・報告の予定です。

以上